

【大東市版ブロックチェーン構想～株式会社熱研編～】

大東市版ブロックチェーン構想の一環として、「ものづくりコネク」にご参加頂いている企業の発信内容をご紹介します。

第2回は、「確かな技術が生み出す、社会に信頼と貢献を」  
株式会社熱研を紹介します！

～確かな技術が生み出す、社会に信頼と貢献を～

株式会社熱研



株式会社熱研：<https://www.e-nekken.co.jp/>

本記事では岡田社長にインタビューを実施。(株)熱研の強みや魅力、今後の展望を語っていただきました！

## 【「偽りのない品物を納める」技術力と品質に自信あり】

(株)熱研の最大の強みは、高い技術力と向上意欲を持った社員の方々です。社員20名のうち1級技能士資格をお持ちの方は7名、特級技能士の方は2名もいらっしゃいます。

(株)熱研では技能士の資格を評価体系や給与に反映することにより、社員の技術力向上を推奨しています。

新卒で入社された女性社員の方は、熱処理と材料の技能士資格を両方とも取得されるほど。

積極的に次のステージへ挑戦することにより、技術力の向上を図っています。

当然、その結果は品質にも現れます。不具合発生は年間を通してほぼ0。1995年に三菱自動車工業の認定工場の資格、2009年にはリーマンショックを機にISO9001も取得され、新規取引の獲得に注力されてきました。

これからも技術と品質をどんどん向上させると意気込んでいます。

## 【「脱・町工場」を掲げ、迅速に体系化と具体化】

(株)熱研の技術力と品質を支える背景には、体系化・具体化された仕組みがあります。

「見て覚えろは悪」と社長就任当初から見えないノウハウを残すことに注力してきた岡田社長。「目に見えない財産を大事にする」ことを心がけ、ITツールの導入と文書のデータ化は、2004年の岡田社長が入社した年から取り組んでいます。

勤怠管理のシステムもいち早く導入し、様々なメリットをもたらしています。例えば、残業の事前申請を取り入れ、社員が自律的に自分のスケジュール、仕事にかかるコストを管理・意識することにより、作業効率が向上し残業が減少、利益を増やすことができました。その利益を社員への還元、社内への投資へ回し、好循環をもたらしています。

技術力と品質を維持するための仕組みづくりに力を入れ、「とにかく早くトライしてみる。ダメだったら元に戻す。よかったら継続する。」ことをモットーに、体系化、具体化されている環境だからこそ、挑戦できる土壌が醸成されます。

## 【社員の職場環境を徹底整備】

先代であるお父様が大事にされている「技術者たる前に人間たれ」の精神を岡田社長も引き継ぎ、職人集団でありながら「コミュニケーションをとりやすい環境」を作ることにも注力されています。

他人との関係を尊重する環境を作り、課題を指摘しあうことにより、技術が向上し、その結果、製品の品質や企業の利益につながっています。

また、心身ともに元気に楽しく、安心して働ける環境作りのために「健康経営」も取り入れています。社員の心身の健康を大事にし、他人への尊重や共感が生まれる環境を作ることが目的です。

岡田社長は毎日社内の方々とは話する時間を大事にし、会話を通じて職場環境の改善に取り組んでいます。

2024年からは週休完全2日制も導入し、仕事とプライベートのメリハリをつけ、よりよい環境作りに取り組んでいかれます。

## 【事業拡大&海外進出を視野】

創業50年、これまでは熱処理の分野で技術を磨いてこられた(株)熱研。これからは新たな挑戦として、M&Aを通しての事業拡大と、独自の海外進出を視野に取り組みられています。



今後も(株)熱研の発展に期待です！  
次回は実際に働いている方々へのインタビュー記事を掲載いたします！

乞うご期待。